

環境経営レポート

エコアクション21



取組期間:2025年9月～11月
発行日 :2025年12月15日

目 次

1. 組織の概要	P1～3
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	P4
3. エコアクション21実施体制	P4
4. 環境経営方針	P5
5. 環境経営目標	P6
6. 環境経営計画	P7
7. 環境経営目標の実績と評価	P8
8. 環境経営計画の取組結果と評価	P9
9. 次年度の環境経営目標	P10
10. 次年度の環境経営計画	P10
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P11
12. 代表者による全体評価と見直し・指示	P12

1.組織の概要

(1)名称及び代表者

- ・鞆商事株式会社
代表取締役 熊田 浩

(2)所在地

- ・本社 香川県高松市朝日町六丁目12番26号
TEL:087-851-6608 FAX:087-821-8219
- ・第二工場 香川県高松市朝日町六丁目569番1

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 執行役員 統括部長 小田切 栄一
- ・連絡先 TEL:087-851-6608

(4)事業内容

- ・鉄・非鉄金属の卸売業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物処分業(中間処理)

(5)事業の規模

- ・設立年月日 昭和53年6月15日
- ・資本金 1000万円
- ・売上高 1,970百万円／令和6年度
- ・従業員 19人(本社14人、第二工場5人)
- ・延べ面積 本社:2,958㎡、第二工場7,988㎡
- ・事業年度 5月～4月

(6)運搬車両等の種類と台数

車両	台数
10tダンプ車	3
大型ユニック車	3
4tダンプ車	1
2tダンプ車	1
4t平ボデー	2

(7) 許可の内容

【産業廃棄物収集運搬処理業】

(高松市)

- ・許可番号 09710019577
- ・許可年月日 令和6年4月5日
- ・許可の有効期限 令和11年3月30日
- ・事業の範囲①廃プラスチック類②木くず③金属くず④ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⑤がれき類(自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等は除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む)

積替または保管許可内容

保管場所	所在地	廃棄物の種類	面積(m ²)	保管上限(m ³)
本社	朝日町六丁目571番2	①②③④⑤	7.2	13.0
第二工場	朝日町六丁目569番1	①②③④⑤	7.2	8.0

(香川県)

- ・許可番号 03703019577
- ・許可年月日 令和6年4月10日
- ・許可の有効期限 令和11年3月30日
- ・事業の範囲①廃プラスチック類②木くず③金属くず④ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⑤がれき類(自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等は除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む)

【産業廃棄物処分量】

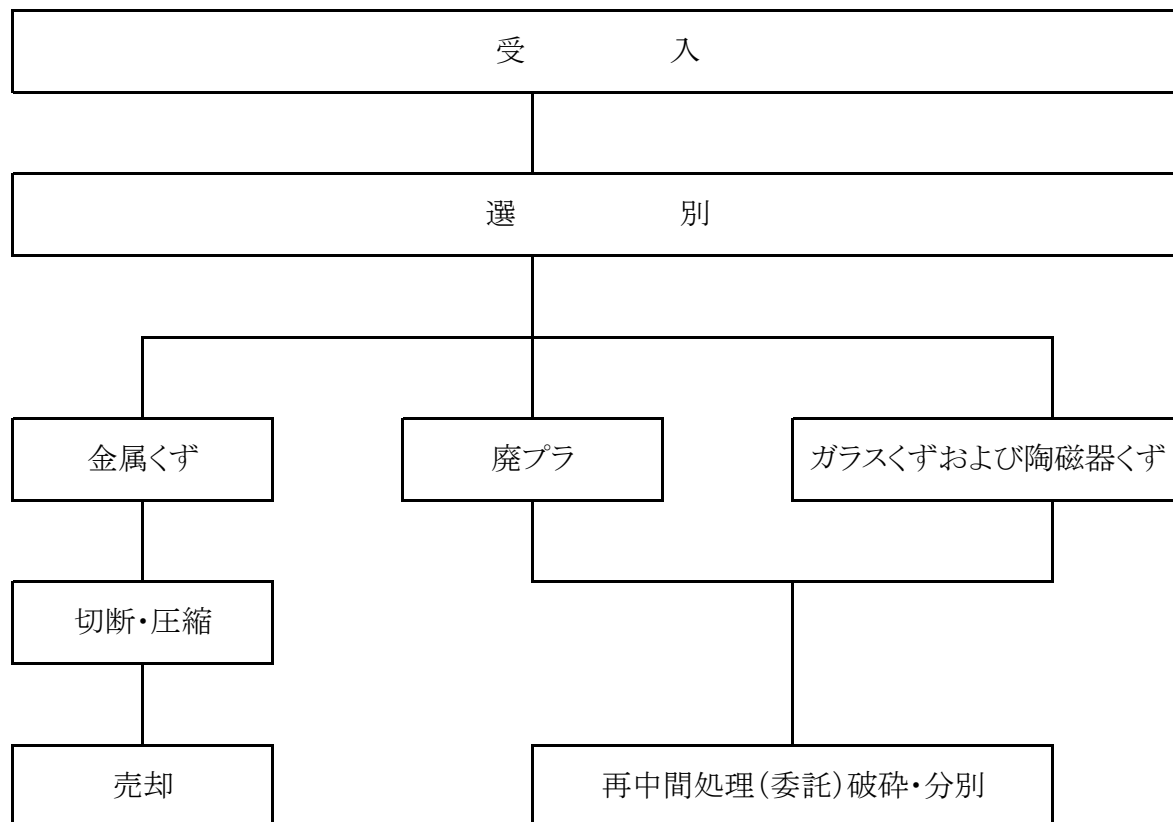
(高松市)

- ・許可番号 09720019577
- ・許可年月日 令和6年4月5日
- ・許可の有効期限 令和11年3月30日
- ・事業の範囲 中間処理業(切断処分及び圧縮処分に限る)
切断処分:①廃プラスチック類②金属くず③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
圧縮処分:①金属くず(自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん、水銀使用製品産業廃棄物を含まない)
1)切断処分 2t/日 ①②③
2)圧縮処分 8t/日 ①
3)圧縮処分 115.2t/日 ①

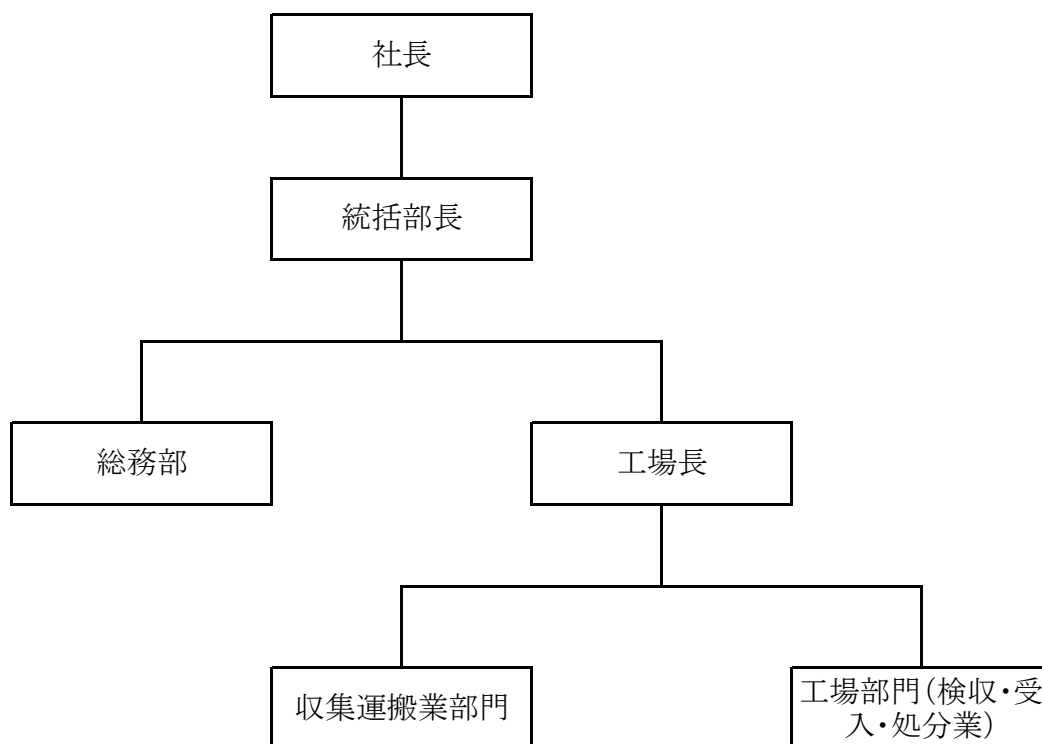
(8) 受託した産業廃棄物、再生資源の処理量(t) (2025年9月～11月)

産業廃棄物収集運搬量	2.1
産業廃棄物処分(中間処理)	7.2
再生資源の収集	704
再生資源の再資源化	3,958

(9) 廃棄物処理フロー



(10) 組織図



2. 認証・登録の対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象事業所

本社、第二工場

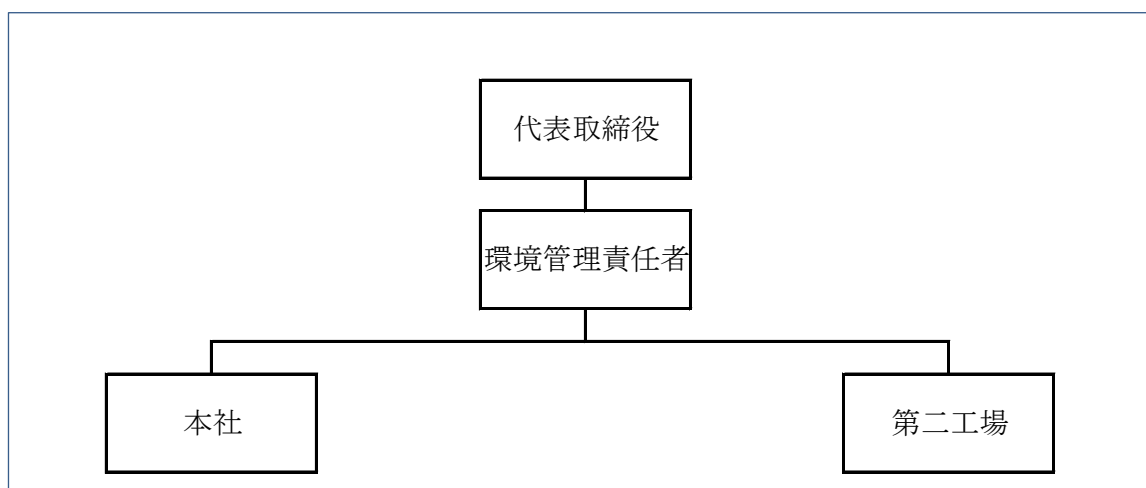
事業内容

鉄・非鉄金属の卸売業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業(中間処理)

レポートの対象期間及び発行日

対象期間:2025年9月～11月 発行日 :2025年12月15日

3. エコアクション21実施体制図



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 環境経営レポートを確認し承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画書を作成 環境活動の取り組み結果を代表者に報告 環境経営レポートの作成 特定された緊急事態への対応マニュアル確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

鞆商事株式会社

環境経営方針

基本理念

鞆商事株式会社は、瀬戸内海の豊かな自然のもと、金属資源のリサイクルを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

私たちは、限りある資源を有効に活用し、環境保全に努めることで、次世代へ美しい自然と豊かな暮らしを継承していきます。

また、お客様・取引先・地域社会、すべてのステークホルダーとの信頼関係を大切にし、他者への思いやりと尊重の心をもって、共に繁栄することを目指します。

社員一人ひとりがこの理念を共有し、誇りをもって行動することで、企業としての社会的責任を果たし、企業価値の向上と持続的な成長を実現してまいります。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- ② 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます。
- ③ 水使用量の削減に取り組みます。
- ④ 金属スクラップ製品量の増加に取り組みます。

2. 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。

環境経営の継続的改善活動に取り組むとともに、環境経営方針は、全ての従業員に周知します。

制定日：2025年9月1日

代表取締役 熊田 浩

5.環境経営目標

○中・長期目標

項目	単位	目 標			
		基準年 (2024年)	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	238,327	235,943	233,560	231,177
・電気使用量削減	kWh	87,601	86,725	85,849	84,973
・ガソリン使用量削減	L	1,556	1,540	1,525	1,509
・軽油使用量削減	L	73,256	72,523	71,791	71,058
一般廃棄物排出量削減	kg	563.5	557.9	552.2	546.6
産業廃棄物排出量削減	kg	62,900	62,271	61,642	61,013
水使用量削減	m3	249	247	244	242
組織本来の取組 *2	t	15,275	15,428	15,581	15,733

*1. 電力のCO2 発生量については、

※四国電力2025年4月7日公表、2023年度実績調整後排出係数0.464(kg-CO2/kWh)を使用。

*2. 組織本来の取組として金属スクラップ製品量の増加を目指します。

*化学物質使用はありません。

○短期目標

・取組期間2025年9月 ～ 2025年11月

項目	単位	基準年 (2024年)	目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	64,089	63,448
・電気使用量削減	kWh	21,099	20,888
・ガソリン使用量削減	L	365	361
・軽油使用量削減	L	20,333	20,130
一般廃棄物排出量削減	kg	75.5	74.7
産業廃棄物排出量削減	kg	18,640	18,454
水使用量削減	m3	85	84
組織本来の取組	t	4,300	4,343

6.環境経営計画

・取組期間2025年9月 ～ 2025年11月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①プレス機作業の効率化 ②不要な照明の消灯 ③適正温度の維持	統括部長 総務担当 総務担当
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②車内に不要なものを積載しない	統括部長 統括部長
	軽油使用量削減	①重機、ユニック車両作業の効率化 ②エコドライブの励行	統括部長 統括部長
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①ペーパーレス化の推進 ②コピー用紙裏面の再利用	総務担当 総務担当
	産業廃棄物削減	①選別の徹底 ②再資源化の推進	統括部長 統括部長
水使用量削減	節水	①日常的な節水の励行 ②洗車時の節水の推進	総務担当 統括部長
組織本来の取組	金属スクラップ製品量の増加	①選別の徹底 ②品質の向上	社長 社長

7.環境経営目標の実績と評価

・取組期間2025年9月 ～ 2025年11月

項目	単位	基準年 (2024年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量削減*1	kg-CO2	64,089	63,448	64,193	99%	×
・電気使用量削減	kWh	21,099	20,888	23,565	89%	×
・ガソリン使用量削減	L	365	361	231	156%	○
・軽油使用量削減	L	20,333	20,130	20,079	100%	○
一般廃棄物排出量削減	kg	75.5	74.7	65.5	114%	○
産業廃棄物排出量削減	kg	18,640	18,454	15,560	119%	○
水使用量削減	m3	85	84	78	108%	○
組織本来の取組 *2	t	4,300	4,343	3,958	91%	×

○:達成 ×:未達成

*1. 電力のCO2 発生量については、

※四国電力2025年4月7日公表、2023年度実績調整後排出係数0.464(kg-CO2/kWh)を使用。

*2. 組織本来の取組として金属スクラップ製品量の増加を目指します。

* 化学物質使用はありません。

○コメント

二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量は若干の未達となった。特に電力使用量が増加となった。理由としては本社プレス機の稼働が増えた為であった。稼働増加の主な要因は1度プレスした物を積込時に崩れないように再度プレスしていた為で極力2回プレスしないようにプレス担当者に説明をした。
廃棄物排出量削減	(一般廃棄物)FAXは一旦データとして受取、必要な書類のみ印刷してペーパーレス化している。 (産業廃棄物)前年より受入も少なく選別が進んでおり削減となった。
水使用量削減	収集運搬車両の洗車や事務所の日常の水使用量は朝礼等の周知により削減となった。
組織本来の取組	競合他社の増加や取引先の発生数量が減少している為、未達となった。

8.環境経営計画の取組結果と評価

・取組期間 2025年9月 ～ 2025年11月

		具体的実施項目	実施責任者	9月	10月	11月	評価
二酸化炭素	電気使用量削減	①プレス機作業の効率化	統括部長	○	○	○	○
		②不要な照明の消灯	総務担当	○	○	○	○
		③適正温度の維持	総務担当	○	○	○	○
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行	統括部長	○	○	○	○
		②車内に不要なものを積載しない	統括部長	○	○	○	○
	軽油使用量削減	①重機・ユニック車両作業の効率化	統括部長	○	○	○	○
	②エコドライブの励行	統括部長	○	○	○	○	
廃棄物	一般廃棄物削減	①ペーパーレス化の推進	総務担当	○	○	○	○
		②コピー用紙裏面の再利用	総務担当	○	○	○	○
	産業廃棄物削減	①選別の徹底	統括部長	○	○	○	○
		②再資源化の推進	統括部長	○	○	○	○
水使用量	節水	①日常的な節水の励行	総務担当	○	○	○	○
		②洗車時の節水の推進	統括部長	○	○	○	○
組織本来の取組	金属スクラップ製品量の増加	①選別の徹底	社長	○	○	○	○
		②品質の向上	社長	○	○	○	○

○評価に対するコメント

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素	プレス機作業は特定社員がおこなっており極力2回プレスしない方向で効率化をすすめたい。またプレス機を使わずに出荷する運用方法を取り入れ電力使用量削減につなげたい。
廃棄物	(一般廃棄物)引き続きペーパーレス化を推進したい。コピー用紙裏面はできている。 (産業廃棄物)現場で重機による選別および手作業での細かい選別しており再資源化は進められている。
水使用量	朝礼等を通じて日常の節水への注意喚起はできている。洗車時の節水も社員に周知され水使用量は減少している。
組織本来の取組	朝礼等を通じて選別に関する情報を全社員に共有しており選別の徹底は進められている。また機械などによる加工作業で品質の向上は進められている。

9.次年度の環境経営目標

・取組期間 2025年12月 ～ 2026年4月

項目	単位	基準年(2024年)	目標
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	101,675	100,658
・電気使用量削減	kWh	38,779	38,391
・ガソリン使用量削減	L	564	558
・軽油使用量削減	L	30,580	30,274
一般廃棄物排出量削減	kg	250.5	248.0
産業廃棄物排出量削減	kg	18,440	18,256
水使用量削減	m3	75	74
組織本来の取組	t	6,255	6,318

*1. 電力のCO2 発生量については、

※四国電力2025年4月7日公表、2023年度実績調整後排出係数0.464(kg-CO2/kWh)を使用。

*2. 組織本来の取組として金属スクラップ製品量の増加を目指します。

* 化学物質使用はありません。

10.次年度の環境経営計画

・取組期間 2025年12月 ～ 2026年4月

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①プレス機作業の効率化 ②再プレスの抑制 ③不要な照明の消灯	統括部長 統括部長 総務担当
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②車内に不要なものを積載しない	統括部長 統括部長
	軽油使用量削減	①重機、ユニック車両作業の効率化 ②エコドライブの励行	統括部長 統括部長
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①ペーパーレス化の推進 ②コピー用紙裏面の再利用	総務担当 総務担当
	産業廃棄物削減	①選別の徹底 ②再資源化の推進	統括部長 統括部長
水使用量削減	節水	①日常的な節水の励行 ②洗車時の節水の推進	総務担当 統括部長
組織本来の取組	金属スクラップ製品量の増加	①選別の徹底 ②品質の向上	社長 社長

11.環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

No.	法規制等の名称	該当条文	届出事項・対象設備等	要求事項	遵守内容	確認
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第7条1項	産業廃棄物収集運搬業	収集運搬の許可	許可証	遵守
		第7条6項	産業廃棄物処理業(中間処理)	処分の許可	許可証	遵守
		第12条		産業廃棄物保管場所基準の遵守	看板表示2か所	遵守
		第14条		産業廃棄物の収集、処理委託業務の遵守	委託契約書	遵守
		第12条の3		産業廃棄物処理伝票による管理	マニフェスト伝票	遵守
2	自動車リサイクル法		使用済自動車の処理	使用済み自動車の再資源化	リサイクル券	遵守
3	グリーン購入法	第5条	環境にやさしい事務用品等の購入	環境配慮型商品の購入	領収書	遵守
4	フロン排出抑制法		フロン使用エアコンの簡易点検	3か月毎の簡易点検	簡易点検の記録	遵守
5	水質汚濁防止法	第3条	排出水の汚染状況	公共用水域の汚染防止	油水分離層の定期的清掃	遵守
6	騒音規制法	第4条	登録の必要な機器発生時	行政への届け出(騒音の抑制)	受理書保管 騒音の測定(苦情発生時)	遵守
7	振動規制法	第1条	登録の必要な機器発生時	行政への届け出	受理書保管 振動の測定(苦情発生時)	遵守
8	労働安全衛生法	第12条の2	安全衛生推進者の選任	従業員10人～49人は安全衛生推進者1人選任	工場内掲示	遵守
9	労働安全衛生規則	第612条の2	職場全体	熱中症対策	ポスター掲示、社員周知	遵守
10	消防法	第17条3の3	消防防災設備	点検と報告(年2回)	消防防災設備点検報告書	遵守
11	香川県環境基本条例	第5条	自社の事業活動	事業者の責務、廃棄物の適正処理	第5条の適切な実施	遵守
12	香川県生活環境の保全に関する条例	第3条	自社の事業活動	公害防止その他の環境への負荷の低減	第3条の適切な実施	遵守
13	みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例	第8条	植樹	敷地内の緑化推進	植樹及び管理	遵守
14	高松市環境基本条例	第5条	自社の事業活動	自然環境保全及び創造	第5条の適切な実施	遵守
15	香川県産業廃棄物処理等指導要綱(高松市産業廃棄物処理指導要綱)	第25条1項(第19条)	マニフェスト報告(年1回)	行政への届出(数量)	産業廃棄物処理実績報告書 産業廃棄物運搬実績報告書 産業廃棄物処分実績報告書	遵守

法適用及び遵守のチェックを行いました。なお環境関連法規等の逸脱はありませんでした。
過去3年間、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

確認者:小田切 栄一 承認者:熊田 浩

遵守評価日:2025年12月15日

12. 代表者による全体評価と見直し・指示

短期間ではありましたが、初めてエコアクション21に取り組みました。各種データの取りまとめには大きな労力を要しましたが、数値により見える化したことで、現場の改善点や運用の見直しにつながる成果を得ることができました。

二酸化炭素排出量の削減は概ね達成しました。一方で、電気使用量は増加しており、金属プレス機の稼働増加が主な要因です。引き続きプレス機作業の効率化を進めるとともに、再プレスを抑える方向で運用の見直しを行います。軽油使用量については目標を達成したものの、目標並みの水準にとどまっているため、引き続き作業効率化やエコドライブの徹底を推進します。次年度には運搬車両の更新を予定しており、軽油使用量の一層の削減が見込まれます。

廃棄物排出量および水使用量の削減は達成しており、今後も継続して取り組みます。

一方、金属スクラップ製品量の増加については、発生量の減少や他社の進出の影響もあり、減少傾向が続いています。単なる増集荷を目指すのではなく、選別の強化・品質の向上により、付加価値(収益)を高め、製品量の増加を目指します。

環境経営方針及び実施体制の変更に対する必要性の有無

環境経営方針 有 無
環境経営目標 有 無
環境経営計画 有 無
実施体制 有 無

2025年12月15日

代表取締役
熊田 浩